

時が解決、 何とかなります

宇治田原町戸籍・保険課長

長谷川みどり氏





とにかく、にこやかで明るい。そして、声が大きい。「人としやべるのが好きで、昔から声が大きいようです。だから内緒話はできないんですよね」と笑う。「議会答弁では、自信のない時は早口になるんですが、自信のある時はゆっくりと大きな声でしゃべるようにしているんです」。屈託がなく、また笑いを誘う。

2年前に、今のポストに就いた。来年1月から運用されるマイナンバー制度の住民対応や2018年

度から運営主体が都道府県に変わる国保事業を抱える。「マイナンバーでは制度の周知を進める一方、制度を装った振り込め詐欺などへの注意も呼びかけていく必要があります。国保では新制度がスタートするまでに、これまでの累積赤字をなんとか解消したいんですが」。赤字財政の話の時ばかりは、さすがに表情が少し曇った。

仕事に家庭、子育てに無我夢中

地元の役場に就職して約30年。議会事務局、会計課、住民福祉課、町教委など様々な担当を経験してきた。この間、仕事に家庭、子育てに、無我夢中で頑張ってきたという。「育児・介護休業法ができる前で、8週間の産後休業の後、職場に復帰しました。しんどい時期もあり、辞めたいと思った時も正直ありますよ」

「今は苦しいけど、これ乗り越えれば何とかかなる、あまり深刻に考えず時が解決してくれると思って前に進めば、不思議と何とかなっているんじゃないです」。働く女性へアドバイスをお願いしたところ、気負いもなく、こんな答えが返ってきた。

元気でいるためには食べること

気になる健康法については、「運動はしてませんので、あえていえば食べることです。元気でいるためには、まずは食べなかなでしょう」。休みの日には、買い物などを楽しみながら「一日に五食」の時もあるという。

「だから何が一番つらいかと言うと、前日の影響で胃が広がっている月曜日には、午前中からお腹がすくことなんです。職員にはナイショなんです」。これもまた、元気な声で内緒話を打ち明けられ、つつい笑ってしまった。

帰り際「世渡りの道」と書いた紙を見せてくれた。役場に務めて間もないころ大先輩の女性職員からもらったという。「机に張って、困った時や異動のたびに自省の拠り所になっています。聞き覚えのある言葉を並べたものですが、実行となるとなかなかできません」と話しながら、最後の一節を読んでくれた。

「気（きはながく）心（こころはまるく）腹（はらたてず）口（くちつつしめば）命（いのちながかれ）」

先輩からもらった、
「世渡りの道」

